



赤い羽根共同募金運動

令和6年度事業報告

～ あなたの支援が 未来を変える ～



(令和6年度静岡県版ポスター)

社会福祉法人静岡県共同募金会

目 次

第1部 概 要

1 募金状況 -----	1
2 助成状況 -----	1

第2部 事業実施状況

第1 募金活動

1 社会的ニーズの把握 -----	3
2 助成要綱の制定 -----	3
3 助成申請の受付 -----	3
4 助成計画の策定と目標額の設定 -----	3
5 広報活動 -----	4
(1) 県民全体への広報 -----	4
(2) 静岡県共同募金会ホームページによる広報 -----	5
(3) 健康福祉大会での広報 -----	6
(4) 報道機関による広報協力 -----	6
(5) 地元サッカーチームによる広報協力 -----	8
(6) 地元プロ野球球団による広報協力 -----	8
(7) 静岡県による広報協力 -----	8
(8) 静岡県社会福祉協議会による広報協力 -----	9
(9) 赤い羽根若者向けプロジェクト～芸術系高等学校による広報協力 -----	9
6 寄付依頼活動(募金活動) -----	9
(1) 赤い羽根共同募金 -----	9
① 一般募金 -----	10
② 課題解決プロジェクト募金 -----	12
(2) 地域歳末たすけあい募金 -----	13
(3) NHK 歳末たすけあい -----	13
7 新しい募金手法による寄付の受入(年間を通した寄付) -----	14
(1) 社会貢献型自動販売機による寄付 -----	14
(2) 物品による寄付 -----	14
(3) 寄付つき商品による寄付(募金百貨店プロジェクト) -----	14
(4) ネット募金 -----	15
(5) 中央共同募金会受付の寄付(静岡県分) -----	16
(6) 遺贈による寄付 -----	16

第2 助成活動

1 共同募金による助成 -----	17
2 緊急等助成資金による助成 -----	18
(1) 災害ボランティアセンター設置・運営費助成(令和6年6月18日の大雨災害) -----	18

(2) “赤い羽根”災害ボランティア活動用機器整備事業 -----	18
3 “赤い羽根”夏休みこども食堂支援セット助成事業 -----	18
(1) 寄付の状況 -----	18
(2) 助成先 -----	18
(3) 贈呈式 -----	19
4 助成効果の測定と実地監査の実施 -----	19
(1) 市町社会福祉協議会による地域福祉活動 -----	19
(2) 福祉施設機器整備(修繕含む) -----	19
(3) 広域活動団体による地域福祉活動 -----	19
第3 その他の活動	
1 災害等準備金の状況 -----	20
2 災害義援金の状況 -----	20
3 共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金の受入れと助成 -----	20
4 他団体助成事業の受託事務 -----	20
5 顕彰活動 -----	21
(1) 令和6年度全国社会福祉大会における表彰 -----	21
(2) 令和6年度静岡県健康福祉大会における表彰 -----	21
(3) その他の顕彰 -----	21

第3部 法人運営

第1 会務の運営	
1 理事会 -----	22
2 評議員会 -----	23
3 監事監査 -----	23
4 評議員選任・解任委員会 -----	24
5 配分委員会 -----	24
6 本会開催の会議等 -----	25
第2 その他の会務の運営	
1 関係機関との連携 -----	26
(1) 中央共同募金会主催の会議等 -----	26
(2) 社会福祉協議会主催の会議等 -----	26
(3) その他の会議、外部研修等 -----	26
2 共同募金運動募金経費 -----	26
3 社会福祉法人指導監査 -----	26
第3 社会福祉法人静岡県共同募金会役員等名簿 -----	27



第1部 概要

複雑化・多様化する福祉課題下での“赤い羽根”共同募金運動

“赤い羽根”共同募金運動は、昭和22年に国民一人一人が助け合いの精神で取り組む「国民たすけあい運動」として始まって以来、募金ボランティアの尽力により、これまでの78回の運動で静岡県内の寄付金総額は約329億円、助成総額は約290億円に上り、それぞれの時代における福祉課題を解決してきた。

現在、地域には、人口減少、世帯規模の縮小や単身世帯の増加といった社会構造の変化に加え、長引く物価高騰や未だに残る感染症の影響等により、孤独・孤立の状況に置かれている人々や、生活に困窮する人々が数多く存在し、我々を取り巻く福祉課題はこれまで以上に複雑化・多様化している。また、近年多発する台風や地震災害等で被災された方々への支援も大きな課題となっており、制度外ニーズへの対応も含めて、“赤い羽根”は時代の求める様々な支援に応える大きな役割を担っている。

1 募金状況

令和6年度は、令和6年9月3日付け厚生労働省告示第284号により令和6年10月1日から翌年3月31日までの6カ月間を運動期間と定め、目標額を5億3400万円として県内全域で運動を展開した。

ここ数年控えていた対面方式の運動を増やし、多くのボランティアの皆さんとともに積極的に取り組み、募金活動では、戸別募金を中心に丁寧な説明を行うとともに、法人募金ではダイレクトメールの活用、近年の新しい募金手法では、課題解決プロジェクト募金(クラウドファンディング)や、ネット募金、寄付物品の受入、令和6年10月から始まった PayPay を利用した募金などにも積極的に取り組んだ。

その結果、対前年比では3.6%の増加となる約5億454万円と5億円の大台を確保し、経済的困窮や社会的孤立等で苦しんでいる方々を支援しようという県民の皆様の思いが集まった運動となった。

区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
一般募金	339,474,000	319,440,376	94.1	20,767,319	107.0
(うち課題解決 プロジェクト募金)	(3,856,000)	(6,983,251)	(181.2)	(2,871,268)	(169.9)
地域歳末たすけあい募金	179,217,000	169,306,246	94.5	▲4,726,553	97.3
NHK歳末たすけあい	15,309,000	15,797,311	103.2	1,158,223	108.0
合計	534,000,000	504,543,933	94.5	17,198,989	103.6
前年度	545,000,000	487,344,944	89.5	▲20,653,798	96.0

(市町共同募金委員会別の実績額は別冊統計資料 5～9ページ)

2 助成状況

「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」の助成テーマのもと、高齢者の孤立を防ぐ仕組みづくり、障害者が地域で生活するための福祉施設の機器整備、こどもを地域で見守る取り組み、ひきこもりからの回復を目指す取り組みなど、多様なニーズに即した助成を行うとともに、募金額の3%を災害対応のために積み立てた。

その結果、助成実績は、246件、4億2423万円余となり、福祉関係団体等の幅広い要望にすべて応えることができた。

区分	助成 件数	助成額(円)	前年度比較		
			増減数	増減額(円)	比率(%)
一般募金	145	240,375,060	▲28	▲631,210	99.8
地域歳末たすけあい募金	34	163,874,365	0	▲4,864,079	97.2
NHK歳末たすけあい	67	19,989,000	▲4	▲315,000	98.5
合計	246	424,238,425	▲32	▲5,810,289	98.7
前年度	278	430,048,714	▲45	▲14,494,550	96.8

(助成実績は別冊統計資料 14～32ページ)



第2部 事業実施状況

近年、地域福祉課題が複雑化、多様化しており、地域には、長引く物価高騰や未だに残る感染症の影響等を受け、孤独・孤立の状況に置かれている人々や、生活に困窮する人々への支援が依然として必要とされている現状がある。また、相次ぐ災害への対応も、近年の大きな社会的課題になってきている。

一方で、社会貢献活動の多様化やキャッシュレス決済の加速等に伴い、平成7年度をピークに募金額の減少が続くなど、共同募金を取り巻く課題も大きくなっている。

厳しい状況が続くなか、令和6年度の活動実施にあたっては、さらなる赤い羽根共同募金運動の活性化を図るため、事業計画に基づき、全国の共同募金会が一斉に取り組む「全国共通助成テーマ」と「重点助成分野」を掲げ、持続可能な開発目標(SDGs)を支援するとともに、本県独自の「“赤い羽根”助成認知度アッププロジェクト」の拡大に取り組んだ。

全国共通助成テーマ

目 的：地域の重要なニーズをひとつに絞って人々の関心を引き起こす

テーマ：「つながりをたやさない社会づくり～あなたはひとりじゃない」

重点助成分野

目 的：幅広い切り口から共同募金の助成を可視化し、使途の具体的なイメージづくりにつなげる



重点助成分野のイメージ

共同募金は、全国で年間4万件を超えるさまざまな活動への助成を行っていますが、その中でも次のような活動分野を重点的に応援していきます。



誰をも受け入れ、誰もが参加できる地域づくり

- ・障がいがある人たちの地域就労への支援
- ・多様で持続的な当事者活動への支援
- ・新しい当事者活動の立ち上げ支援
- ・LGBTQ・外国ルーツの住民の地域への参加



健康でいきいきと暮らし続けられる地域づくり

- ・高齢者の孤立を防ぐ活動への支援
- ・地域でいきいきと元気に活躍できる場の創出



生きづらさを抱える子ども・若者とその家族への支援

- ・孤独・孤立にある子ども・若者の居場所づくり
- ・子ども食堂・フリースクールへの支援
- ・ひとり親家庭に対する支援
- ・ヤングケアラーへの支援



災害ボランティア活動への支援

- ・災害時のボランティア活動への支援
- ・災害時に備えた見守り支援
- ・災害時のボランティア活動機器のネットワーク化支援



生活に困難を抱える人々への緊急支援
(地域歳末たすけあいを中心に実施)

- ・経済的困窮にある人への食支援
- ・住まいを失った人への居住支援
- ・その他の緊急支援活動の創出支援

“赤い羽根”助成認知度アッププロジェクト

趣 旨：赤い羽根共同募金運動を活性化するためには助成金の使いみちを知ってもらうことが重要であり、特に市町社会福祉協議会が行う地域福祉活動は多岐に亘り、その使いみちを寄付者目線で分かりやすく明示する必要があることから、市町社会福祉協議会で本プロジェクトを実施

【STEP1】“赤い羽根”助成標示強化プロジェクト～見せます使いみち～

使いみちを分かりやすく見せることを目的に、実施事業に“赤い羽根”のタイトルをつけることを助成条件として、助成要項の提出を求める。

【STEP2】“赤い羽根”イチオシ助成プロジェクト～解決します困りごと～

社会福祉協議会が行う共同募金助成金を財源にした事業の中から、社会福祉協議会が重点的に行う“イチオシ事業”を、助成金を活用する寄付者目線で掲げ、アピールするきっかけづくりをする。

【STEP3】“赤い羽根”地域応援プロジェクト～支え合うまちづくり～

地域の担い手を育てて実践活動につなげる助成メニューを活用して、使いみちを分かりやすく「見える化」する。



第1 募金活動

共同募金は、地域福祉活動を進めるため、あらかじめ使いみち(助成計画)や目標額(募金計画)を定めて行う計画募金である。そのため社会的ニーズに即した助成要綱を定め、広く要望を取りまとめたうえで、助成計画及び募金目標額を定めて募金活動を展開した。

1 社会的ニーズの把握

(1) 県及び市町社会福祉協議会との連携

- ① 社会福祉法第119条の規定に基づき、共同募金の実施に先立ち、静岡県社会福祉協議会に対して目標額、助成の範囲等に対する意見を求めた。
- ② 市町社会福祉協議会は、地域福祉活動の主たる実施主体として地域福祉活動計画等を定め、地域ニーズに即した活動を積極的に展開しており、その活動財源として共同募金の役割は大きいことから、常に連携を図り共通認識の形成に努めた。
併せて、地域福祉活動計画の策定・見直し時には、多様な活動の資金調達手法の一つとして共同募金を積極的に計画に位置づけ、共同募金運動そのものが活性化するよう市町社会福祉協議会に対して周知・徹底を行った。

(2) 助成施設団体等との意見交換

助成先が抱える福祉課題について、共同募金の助成を通じて課題解決が図られるよう、申請時や実地調査等の際に意見交換を行い、現状と将来展望の把握に努めた。

(3) 行政機関との意見交換

最近の行政施策の動向、施設整備等の補助制度の内容等について、行政機関と意見交換を行い、公的支援制度で対応できない諸課題について情報収集に努めた。

2 助成要綱の制定

助成要綱は、共同募金の基礎となるものであるため、社会的ニーズに合わせて見直しを行い、助成基準の明確化、助成事例の例示など寄付者と助成先の双方に分かりやすい内容とした。

また、透明性、客観性、公平性を確保するため、助成対象となる活動主体、内容、対象経費等の助成条件、応募方法、審査方法等について、配分委員会の意見を踏まえたうえで制定した。

3 助成申請の受付

助成申請の募集では、助成情報の広報に努め、偏りのない幅広い助成先の掘り起こしに努めた。

主な申請受付期間	令和6年4月1日(月)～5月15日(水)
----------	----------------------

(広報方法)

- (1) 助成要綱・要領を広く県民が閲覧できるよう、ホームページで公表
- (2) 市町社会福祉協議会、社会福祉法人、特定非営利活動法人等に助成案内を直接送付
- (3) 静岡県ボランティア協会、静岡県社会福祉協議会、ふじのくにNPO活動支援センター、男女共同参画センターあざれあ等に、ホームページ及びメールマガジンなどへの掲載依頼
- (4) 市町共同募金委員会においても、それぞれの地域で助成説明会を開催

4 助成計画の策定と目標額の設定

- (1) 助成申請を基に助成計画を策定し、これに経費を加え募金目標額とした。令和6年度は、目標額を5億3400万円とし、7月2日(火)の配分委員会で承認後、7月12日(金)の理事会で決定した。

- (2) 社会福祉法第119条に基づき、募金の目標額、受配者の範囲、配分方法を、9月27日付けの官報で公告した。



■令和6年度共同募金 申請状況・助成計画・目標額

(単位:千円)

募金区分	申請状況		助成計画 ①	経 費 ②	目標額 (①《》書き+②)
	件数	申請額			
一般募金	111	271,458	272,760 《269,756》	69,718	339,474
地域歳末 たすけあい募金	34	174,054	174,054 《174,054》	5,163	179,217
NHK歳末 たすけあい	申請受付期間 9月2日～10月31日		24,687 《14,511》	798	15,309
計	145 (142)	445,512 (442,714)	471,501 《458,321》 (483,468)	75,679 (74,551)	534,000 (545,000)

《 》書き:助成計画のうち募金が必要な額(積立金取崩等、既に財源があるものを除く)

()書き:前年度実績

(助成計画、市町別目標額は別冊統計資料 2～3ページ)

5 広報活動

(1) 県民全体への広報

① 街頭キャンペーン活動

共同募金運動への理解を深めるために、運動初日である10月1日(火)の午前7時30分～8時に静岡駅北口駅前地下広場イベントスペースにおいて、会長、知事及び静岡市長等による街頭キャンペーンを実施した。運動開始のPRに重点を置き、当日は、少人数の募金ボランティアとして、静岡英和女学院高等学校の生徒会役員4名及び清水エスパルスのマスコットキャラクター「パルちゃん」が参加し、赤い羽根共同募金への協力を呼び掛けた。



(静岡駅北口駅前地下広場での街頭キャンペーン)

街頭キャンペーン募金実績	24,110円	(前年度:20,864円)
--------------	---------	---------------

② 32市町共同募金委員会においても、10月1日(火)の運動開始以降、駅や繁華街等において、福祉団体関係者、ボランティアによる街頭募金等の宣伝活動を行い、延べ246か所(前年比133.7%)で実施した。

③ 「使いみちの見える化」を図り新たな募金につなげるため、運動開始前に本年度申請事業の内容と昨年度の助成先を紹介する市町版各戸配布チラシを全戸配布(または回覧)し、赤い羽根共同募金の意義と必要性をアピールした。

特に助成金の約7割を活用している市町社会福祉協議会が行う「イチオシ事業」を中心に掲載し、赤い羽根共同募金が身近な地域福祉活動に役立っていることを広報した。

④ 「広報用動画」を自治会・町内会の募金の協力依頼や民生委員への理解促進、募金ボランティア研修などに幅広く活用し、赤い羽根共同募金の周知に努めた。

⑤ 各種資材を活用し、各世帯、企業、学校などへの広報活動を実施した。

	資 材 名	作成・購入数	備 考
本 会 作 成 ・ 購 入	赤い羽根(シール・針)	1,209,200本	各世帯用(購入)
	ポスター(静岡県版 B2・B3・A2)	11,243枚	各所掲出用(作成)
	若者向け壁新聞	2,700枚	各中学・高校掲出用(作成)
	赤い羽根共同募金への寄付と税制優遇(A4 三つ折り)	30,355枚	寄付者用(作成)
	市町版各戸配布用チラシ(A4)	586,300枚	各世帯用(作成)
	法人開拓用チラシ(A4)	15,500枚	企業用(作成)
	全県版チラシ(A3)	3,100枚	一般用(作成)
	課題解決プロジェクト募金団体チラシ(A4)	13,800枚	// (作成)
	課題解決プロジェクト募金参加団体一覧チラシ(A3)	3,600枚	// (作成)



	資 材 名	作成・購入数	備 考
	募金ボランティアバッジ	2,800個	募金ボランティア用(購入)
	ボランティア活動の手引き(A4 三つ折り)	21,700枚	// (作成)
	募金ボランティア委嘱状(A5)	1,590枚	// (作成)
	静岡県知事名挨拶状(A4)	8,060枚	企業用(作成)
	静岡県商工会議所連合会会長・商工会議所会頭連名挨拶状(A4))	53,150 枚	15商工会議所会報誌に同封(作成)
	静岡県商工会連合会会長・商工会会長連名挨拶状(A4)	8,570枚	12商工会(作成)
	市町共同募金委員会会長名領収書(冊子型)	23,550枚	市町共募領収書(作成)
	市町共同募金委員会会長名領収書(バラ型)	14,095枚	// (作成)
	静岡県共同募金会会長名領収書(冊子型)	57,750枚	税控除用領収書(作成)
	静岡県共同募金会会長名領収書(バラ型)	11,190枚	// (作成)
中 央 共 募 作 成	払込取扱票	17,800枚	ゆうちょ銀行振込用(作成)
	企業向パンフレット	1,593冊	企業用(購入)
	基礎パンフレット(赤い羽根リーフレット)	766冊	一般用(購入)
	子ども向けパンフレット	754冊	学校用(購入)
	壁新聞(B2)	1,470枚	// (購入)
	赤い羽根ブランドブック	226冊	一般用(購入)
	学校募金ハンドブック(全国版)(12 頁)	5,700 冊	学校用(購入)
	子ども用ワッペン(ドラえもん)	15,005個	// (購入)
	子ども用クリアファイル	4,730枚	// (購入)
	募金バッジ	506個	寄付者用(購入)
	エコバッグ	50個	募金ボランティア用(購入)
	ボールペン	1,620本	// (購入)
	募金箱用チラシ	741枚	一般用(購入)
	スタンド式募金箱	21個	// (購入)
	スタンド式募金箱(脚のみ)	3個	// (購入)
	街頭肩掛募金箱	68個	街頭用(購入)
	卓上募金箱	87 個	一般用(購入)
	職域募金箱	2,055個	// (購入)
	組立式募金箱(ドラえもん)	44,975個	学校用(購入)
	募金箱用鍵・錠	25個	// (購入)
	旗布	68枚	// (購入)
	スタッフジャンパー	13枚	街頭用(購入)
	募金グッズ(プレミアム赤い羽根バッジ)	380個	募金グッズ用(購入)
	募金グッズ(クオカード)	3,449枚	// (購入)

(2) 静岡県共同募金会ホームページ(以下「本会ホームページ」と略す。)による広報

本会ホームページを活用し、共同募金運動の実施状況や助成情報を提供するとともに、寄付者への感謝と募金の「使いみちの見える化」に努めた。

- ① 助成情報の周知(助成要綱、申請用紙などをダウンロードできる仕組み)
- ② 助成を受けた施設・団体からの「ありがとうメッセージ」を公開
- ③ 学校や企業・団体による寄付金贈呈、寄付に対する感謝状贈呈等を掲載
- ④ 赤い羽根共同募金を応援する学校や企業・団体等からいただいた「応援メッセージ」を、赤い羽根を手にした関係者の写真とともに掲載し、共同募金運動を盛り上げる機運を醸成
- ⑤ 課題解決プロジェクト募金(クラウドファンディング)の参加団体が掲げるテーマとその目標額・実績額(随時更新)を掲載し、インターネットから寄付ができる仕組みを強化
- ⑥ 中央共同募金会とリンクして、全国キャンペーンや共同募金に関する情報を発信
- ⑦ 助成先のホームページに、本会ホームページへリンクする静岡県共同募金会のバナーをつけることを促し、本会ホームページの閲覧増加を促進
- ⑧ 令和6年10月から開始したPayPayによる募金方法を本会ホームページで周知し、キャッシュレス社会に対応した共同募金をPR



(3) 健康福祉大会での広報

静岡県健康福祉大会の会場において、赤い羽根共同募金の使いみち等について展示を行い、大会参加者への周知を図った。

日程：令和6年10月28日(月)

会場：静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」
11階 会議ホール「風」 エントランス付近



(健康福祉大会会場での展示)

(4) 報道機関による広報協力

- ① 9月11日(水)・12日(木)に、会長が日本放送協会静岡放送局、民放テレビ局(4局)、新聞社(1社)の代表者を訪問し、アナウンサー等番組出演者による赤い羽根着用や、共同募金運動の報道、助成先への取材による使いみちの紹介などについて、直接広報協力の依頼を行い、以下のとおり、共同募金運動の開始や様々な使いみち等について報道された。

■テレビ・ラジオ報道(把握分)

放送局名	番組名	内容	放送日
日本放送協会 静岡放送局 (NHK)	昼の県内ニュース	10/1 街頭キャンペーン	10/1
		NHK 歳末たすけあいオープニングセレモニー	12/2
		NHK 歳末たすけあい実施告知	12/1~12/25
		地域歳末たすけあい助成事業(下田市社協)	12/14
	たっぴり静岡	使いみち紹介(小鹿苑、清水障害者サポートセンターそら、ワークセンターりんどう)	10/4
		NHK 歳末たすけあいオープニングセレモニー	12/2
		NHK 歳末たすけあい実施告知	12/16
静岡第一テレビ (SDT)	ラジオ	NHK 歳末たすけあい実施告知	12/1~12/25
	まるごと+	能登半島地震義援金贈呈式	4/4
	NNNストレイトニュース	赤い羽根夏休みこども食堂支援セット贈呈式	7/30
静岡放送 (SBS)	お買いものいいね!	10/1 街頭キャンペーン	10/1
		使いみち紹介(静岡県聴覚障害者協会)	11/6
	JNN ニュース	共同募金の寄付金の使いみち	9/26
	3時のドリル(ラジオ)	「静岡県庁 ふじっぴーNEWS」のコーナーで 県広報広聴課職員が共同募金運動を周知	10/18
	DJ Roni の ROUND ABOUT(ラジオ)	能登半島地震義援金贈呈式	4/7
静岡朝日テレビ (SATV)	県内ニュース	赤い羽根夏休みこども食堂支援セット贈呈式	7/30
	とびっきりしずおか	10/1 街頭キャンペーン	10/1
		使いみち紹介(静岡市清水区岡地区社協)	10/1
テレビ静岡 (SUT)	テレビ静岡ニュース	赤い羽根夏休みこども食堂支援セット贈呈式	7/29
	FNN Live News Days	10/1 街頭キャンペーン	10/1
シティエフエム静岡 (FM-Hi!)	ひるラジ! 静岡情報館	課題解決プロジェクト募金の紹介 (県ボランティア協会)	1/15
		課題解決プロジェクト募金の紹介 (県社会福祉協議会)	1/29
		課題解決プロジェクト募金の紹介 (サンフォレスト)	2/19
計	25件		

■新聞報道(把握分)

新聞名	内容	掲載日
静岡新聞	助成金交付説明会(本会)	4/3
	知事報告(7/4訪問)(本会)	7/5
	共同募金の使いみち紹介	9/20
	10/1 街頭キャンペーン(本会)	10/2



新聞名	内容	掲載日
静岡新聞 (17)	10/1 街頭キャンペーン(磐田市共同募金委員会)	10/3
	10/6 街頭キャンペーン(浜松市共同募金委員会)	10/8
	使いみち紹介(静岡県聴覚障害者協会)	11/5
	寄付金贈呈(静岡英和女学院中学校・高等学校→本会)	11/15
	補助犬支援センター「みんなのアート事業」(赤い羽根助成事業)	11/22
	歳末たすけあい寄付金贈呈(県美容業組合島田支部→島田市共同募金委員会)	12/3
	寄付金贈呈(清水銀行→静岡市共同募金委員会)	12/4
	中央共同募金会会長表彰受賞(榊タカラ・エムシー)	12/19
	歳末たすけあい寄付金贈呈(浜名区の中学生→浜松市共同募金委員会)	12/27
	歳末たすけあい寄付金贈呈(小糸労組静岡支部→静岡市共同募金委員会)	1/12
	寄付金贈呈(清水区シニアクラブ連合会→静岡市共同募金委員会)	2/4
	課題解決プロジェクト募金の紹介(静岡県社会福祉協議会)	3/18
	課題解決プロジェクト募金の紹介(菊川市社会福祉協議会)	3/20
中日新聞 (1)	課題解決プロジェクト募金の紹介(菊川市社会福祉協議会)	3/14
読売新聞 (1)	10/1 街頭キャンペーン(本会)	10/3
富士ニュース (1)	街頭キャンペーン(富士市共同募金委員会)	10/2
	街頭キャンペーン(富士宮市共同募金委員会)	10/3
岳南朝日新聞 (3)	街頭キャンペーン(富士市共同募金委員会)	10/3
	街頭キャンペーン(富士市共同募金委員会)	10/3
	イベント募金(富士宮市立大宮小学校)	10/19
伊豆日日新聞 (2)	夏の小学生福祉体験(伊豆の国市社会福祉協議会)	8/6
	歳末たすけあい街頭募金(函南町共同募金委員会)	12/3
伊豆新聞 (18)	社会貢献型自動販売機の市役所への設置((福)クープ(伊東市))	6/8
	西伊豆町・ちゃぶだいクラブ「夏休みSUP体験会」(赤い羽根助成事業)	9/16
	街頭募金(下田市共同募金委員会)	10/2
	街頭募金(伊東市ボランティア協会)	10/28
	街頭募金(下田市立朝日小学校)	11/7
	歳末たすけあい寄付金贈呈(伊東駐車場組合→伊東市共同募金委員会)	12/2
	歳末たすけあい街頭募金(下田市共同募金委員会)	12/3
	歳末たすけあい寄付金贈呈(河津町立河津小学校児童会→河津町共同募金委員会)	12/6
	歳末たすけあい寄付金贈呈(伊東市女性連盟→伊東市共同募金委員会)	12/10
	歳末たすけあい寄付金贈呈(西豆仏教会→松崎町共同募金委員会)	12/13
	歳末たすけあい寄付金贈呈(下田仏教会→下田市共同募金委員会)	12/14
	歳末たすけあい寄付金贈呈(伊東市仏教会→伊東市共同募金委員会)	12/17
	歳末たすけあい寄付金贈呈(真如苑伊東道場→伊東市共同募金委員会)	12/20
	歳末たすけあい見舞金贈呈(下田市社会福祉協議会→市内3施設)	12/20
	歳末たすけあい街頭募金(下田市共同募金委員会)	12/21
	歳末たすけあい寄付金贈呈(南伊豆町仏教会→町内4施設・団体)	12/21
	歳末たすけあい街頭募金(河津町立河津中学校生徒会)	12/23
	歳末たすけあい街頭募金(ボーイスカウト伊東第5団)	12/27
伊豆毎日新聞 (9)	街頭募金(熱海市共同募金委員会)	10/2
	寄付金贈呈(熱海市立多賀小学校→熱海市共同募金委員会)	11/15
	寄付金贈呈(熱海ワイズメンズクラブ→熱海市共同募金委員会)	11/27
	歳末たすけあい寄付金贈呈(熱海市仏教会→熱海市共同募金委員会)	12/18
	寄付金贈呈(熱海市立第一小学校→熱海市共同募金委員会)	12/21
	寄付金贈呈(熱海市立伊豆山小学校→熱海市共同募金委員会)	1/18
	寄付金贈呈(熱海市立熱海中小学校→熱海市共同募金委員会)	1/31
	寄付金贈呈(熱海市立桃山小学校→熱海市共同募金委員会)	2/2
	寄付金贈呈(熱海市立泉小・中学校→熱海市共同募金委員会)	2/8
熱海新聞 (11)	街頭募金(熱海市共同募金委員会)	10/2
	寄付金贈呈(熱海市立多賀小学校→熱海市共同募金委員会)	11/16
	寄付金贈呈(熱海ワイズメンズクラブ→熱海市共同募金委員会)	11/25
	歳末たすけあい寄付金贈呈(熱海市仏教会→熱海市共同募金委員会)	12/12
	寄付金贈呈(熱海市立第一小学校→熱海市共同募金委員会)	12/20
	歳末たすけあい寄付金贈呈(梅園町子ども会→熱海市共同募金委員会)	12/20
	歳末たすけあい図書カード贈呈(熱海市社会福祉協議会→熱海市教育委員会)	12/21
	寄付金贈呈(熱海市立伊豆山小学校→熱海市共同募金委員会)	1/11



新聞名	内容	掲載日
熱海新聞	寄付金贈呈(熱海市立熱海中小学校→熱海市共同募金委員会)	1/30
	寄付金贈呈(熱海市立桃山小学校→熱海市共同募金委員会)	2/3
	寄付金贈呈(熱海市立泉小・中学校→熱海市共同募金委員会)	2/7
計	63件	

- ② 中央共同募金会制作の運動啓発用のテレビスポット、ラジオスポットを各放送局(民放テレビ4局、民放ラジオ1局、ケーブルTV11局、コミュニティFM8局)に提供し、報道協力を得た。

(5) 地元プロサッカークラブによる広報協力

① 赤い羽根共同募金運動啓発ポスターへの協力

平成22年度からJリーグの清水エスパルスとジュビロ磐田の協力により、マスコットキャラクター(パルちゃん&ジュビロくん)の写真提供を受け、独自ポスターを制作している。

令和6年度は、「あなた支援が 未来を変える」をキャッチコピーに、ポスター11,243枚を制作し、町内会・自治会の掲示板、公共施設や地方銀行(静岡銀行(電子掲示板)、清水銀行(80枚)、スルガ銀行(電子掲示板))などに掲出し啓発を行った。

② 10月1日(火)街頭キャンペーンへの協力

清水エスパルスマスコットキャラクターのパルちゃんが、10月1日(火)に本会が静岡駅北口駅前地下広場イベントスペースで開催した赤い羽根共同募金運動街頭キャンペーンに参加し、朝の通勤・通学者等に対して赤い羽根共同募金運動の啓発を行った。

③ ホームページ等での協力

<清水エスパルス>

- ・10月1日(火)の街頭募金への参加について、12月6日(金)のニュースで周知した。
- ・10月28日(月)の県健康福祉大会での知事褒賞受彰について、12月6日(金)のニュースで周知した。

<ジュビロ磐田>

- ・10月からの赤い羽根共同募金運動へのジュビロ磐田としての参加内容等を9月24日(火)のニュースで告知し、協力依頼の啓発を行った。
- ・10月28日(月)の県健康福祉大会での知事褒賞受彰について、11月17日(日)のブログで周知した。



(令和6年度ポスター)

(6) 地元プロ野球球団による広報協力

静岡県を拠点にして令和6年から日本プロ野球機構のウエスタン・リーグに参加した「くふうハヤテベンチャーズ静岡」が、社会貢献活動の一環として、赤い羽根共同募金に対して協力を行った。

① 応援メッセージの発出

赤い羽根共同募金に対して、監督及び選手3名による応援メッセージが寄せられ、本会ホームページに写真付きで公開し、赤い羽根共同募金運動の機運醸成に貢献した。

② NHK歳末たすけあいオープニングセレモニーへの参加

12月2日(月)に日本放送協会静岡放送局(NHK)で開催した「NHK歳末たすけあいオープニングセレモニー」にユニフォーム姿の選手2名が参加して募金を行い、NHK歳末たすけあいの機運醸成に貢献した。

(7) 静岡県による広報協力

① 県庁組織

ア 「しずおか県民だより」12月号1面下部のバナー欄において、歳末たすけあい募金の告知を行った。

イ 県庁にのぼり旗(3箇所)を掲出し、募金箱(3個)を設置した。また、県庁西館3階・5階、健康福祉センター(7箇所)にポスターを掲出した。

ウ 10月18日(金)放送のSBSラジオ「DJ Roni の ROUNDABOUT」の「静岡県庁 ふじっぴーNEWS」のコーナーで、広聴広報課職員が赤い羽根共同募金運動の実施について周知を行った。

エ NHKと静岡放送の地デジ放送で、「県からのお知らせ」として文字情報により、赤い羽根共同募金運動の実施について周知を行った。

オ 県知事と健康福祉部長が、10月1日(火)に静岡駅北口駅前地下広場イベントスペースで本会が開催した赤い羽根共同募金運動街頭キャンペーンに参加し、朝の通勤・通学者に対して赤い羽根共同募金運



動の啓発を行った。

カ 県議会本会議場や委員会室等で、9月定例会及び12月定例会の期間中、県知事以下出席職員が赤い羽根を着用し、広報啓発に協力した。

キ 課題解決プロジェクト募金のチラシ作成における配色等について県広報業務アドバイザー支援を受け、チラシ作成における改善につながった。

<参考:広報以外での県の協力>

- ・ 6月11日(火)開催の災害救助法等市町担当者会議及び8月21日(水)開催の副市長・副町長合同研修会において、各市町社協との災害協定締結及び協定における市町の負担内容の明確化について、福祉長寿政策課長から各市町へ周知・協力を呼び掛けた。
- ・ 10月28日(月)にグランシップで開催された県健康福祉大会の会場で、福祉長寿政策課職員が大会参加者に対して募金活動を行い、赤い羽根共同募金への協力を求めた。
- ・ 10月からの一般募金と12月のNHK 歳末たすけあいにおいて、県組織全体(教育委員会及び公安委員会を含む)で職域募金による協力を行った。

② 県議会

10月1日(火)と10月11日(金)には県議会本会議場で、10月3日(木)(一部10月4日(金))には厚生委員会を始めとした各委員会室で、多くの県議会議員が赤い羽根を着用し、広報啓発に協力した。

(8) 静岡県社会福祉協議会による広報協力

静岡県社会福祉協議会機関紙「社会福祉しずおか“むすぶつなぐ”10月号」に、赤い羽根共同募金の広報記事が掲載され、寄付つき商品(募金百貨店プロジェクト)や社会貢献型自動販売機について紹介された。(11,300部 県内福祉施設、団体、民生委員児童委員、企業、県内小中高等学校等に配付)

(9) 赤い羽根若者向けプロジェクト～芸術系高等学校による広報協力 (3回目)

次代を担う若者に、赤い羽根共同募金運動を通じて福祉に関心をもってもらい、若者自らが「じぶんの町を良くするため」に、学校で学んだスキルを活かして共同募金運動に協力してもらうことを目的として、「赤い羽根若者向けプロジェクト」を実施した。

県立伊豆伊東高等学校アートコースの3年生16名が令和5年度中にデザイン制作を行い、うち5作品を令和6年度の広報用資材に使用した。このうち、「若者向け壁新聞」は4月に県内の全中学校・高等学校へ配付し、「全県版チラシ」、「法人開拓用チラシ」、「市町版各戸配布用チラシ」、「ボランティア活動の手引き」は8月以降の周知活動等で使用した。



令和6年度若者向け壁新聞 (伊豆伊東高等学校)

6 寄付依頼活動(募金活動)

(1) 赤い羽根共同募金(令和6年10月1日～令和7年3月31日)

社会福祉協議会や広域活動団体が行う地域福祉活動支援事業、社会福祉施設の機器整備、こども食堂誕生日会・福産品応援事業などに対する助成を行うため、各市町の区域ごとに戸別、法人、学校募金等の募金活動を実施した。

また、参加団体が福祉課題の解決を呼び掛ける課題解決プロジェクト募金(寄付先を選べるクラウドファンディング)、ネット募金、社会貢献型自動販売機の設置、寄付つき商品(募金百貨店)の提案、寄付物品の受け入れなどの新しい募金手法にも挑戦した。

区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
一般募金	339,474,000	319,440,376	94.1	20,767,319	107.0
(うち課題解決 プロジェクト募金)	(3,856,000)	(6,983,251)	(181.2)	(2,871,268)	(169.9)





■募金方法別の分析

募金方法	対 応	募金額 前年比		内 容
戸別 募金	・全世帯へ協力依頼チラシの配布回覧 ・積極的な広報によりマスコミでの露出度を高める	99.0%	➡	自治会・町内会の協力により、 ほぼ前年並となった
法人 募金	・対面や振り込みによる寄付の推奨 ・商工会議所等の経済団体に直接協力依頼	94.1%	➡	振込募金等で苦戦し、法人か らの協力が減少した
街頭 募金	・対面での募金活動を本格的に復活 ・駅、スーパー、繁華街等で運動を実施	119.0%	➡	実施した組織・団体が増え、 募金実績も大幅に増加した
学校 募金	・教育委員会、高等学校長協会の会議で協力依頼 ・学校募金ハンドブックの活用依頼	99.7%	➡	生徒会中心の堅実な運動等 により、前年並となった
職域 募金	・共同募金の必要性を丁寧に説明	103.9%	➡	各職域への積極的な呼びか けにより、増加となった

① 一般募金(令和6年10月1日～12月31日)

戸別募金、法人募金、学校募金、職域募金などによる円滑な募金活動を推進するため、募金推進団体開催の会合等に出向き、募金活動への積極的な協力を依頼した。

ア 知事への報告及び協力依頼

令和5年度の募金・助成活動の報告、10月1日(火)からの令和6年度の運動への協力依頼を行った。

月日	内 容	出席者
令和6年7月4日(木)	・令和5年度の募金・助成活動の報告等 ・10/1街頭キャンペーンへの出席依頼	会長、常務理事、事務局長

イ 戸別募金増強に向けて 一自治会連合会へお礼と協力依頼一

月日	主 催	会議名
令和6年6月26日(水) 令和7年2月28日(金)	静岡県自治会連合会	理事会

ウ 法人募金増強に向けて 一各団体へお礼と協力依頼一

■静岡県、政令市民生委員児童委員協議会

月日	主 催	会議名
令和6年5月16日(木)	静岡市民生委員児童委員協議会	理事会
令和6年5月23日(木) 令和7年3月24日(月)	静岡県民生委員児童委員協議会	理事会
令和6年6月5日(木)	静岡県民生委員児童委員協議会	総会
令和6年6月18日(火)	浜松市民生委員児童委員協議会	評議員会
令和6年9月25日(水)	静岡県民生委員児童委員協議会	法定地区会長研修会

■経済・産業関係団体

月日	主 催	会議名
令和6年6月11日(火)	静岡県商工会連合会	訪問依頼※1
令和6年6月26日(水)	(一社)静岡県商工会議所連合会	専務理事・事務局長会議※2
令和6年9月13日(金)	(一社)静岡県医師会	訪問依頼※3
令和6年9月26日(木)	(一社)静岡県建設業協会	理事会※4
令和6年9月26日(木)	(一財)静岡県生活衛生営業指導センター	訪問依頼※5
令和6年10月21日(月)	静岡県中小企業団体中央会	訪問依頼※6

※1 静岡県商工会連合会会長及び各商工会会長の連名による「共同募金協力に係る挨拶状」を活用し、市町共同募金委員会が当該商工会の会員に対し、社会貢献メニューとしての共同募金への協力を呼びかけた。

※2 静岡県商工会議所連合会会長及び各商工会議所会頭の署名による「共同募金協力に係る挨拶状」を県内15商工会議所が発行する会報誌に同封(一部印刷)して、会員に対して社会貢献メニューとしての共同募金への協力を呼びかけた。

※3 静岡県共同募金会会長の署名による「赤い羽根共同募金のご協力のお願い」を静岡県医師会が発行する会報誌に掲載して、会員に対して社会貢献メニューとしての共同募金への協力を



を呼びかけた。

※4 静岡県建設業協会の協力により、会員企業に対して社屋・建設工事現場等への「社会貢献型自動販売機」の設置を呼びかけた。また、静岡県建設業協会のホームページに、本会からの寄付依頼、「社会貢献型自動販売機」設置協力依頼、法人開拓用チラシを掲載した。

※5 静岡県生活衛生営業指導センターを通じて、傘下の各種業界団体事務局に対し、各支部・各組合員等に対しての赤い羽根共同募金運動への協力を依頼した。

※6 「赤い羽根共同募金のご協力をお願い」を静岡県中小企業団体中央会のホームページや会員向けメルマガに掲載し、会員に対しての共同募金への協力を呼びかけた。

■金融機関

月日	対象	内容
令和6年8月22日(木)、26日(月)	県内地方銀行3行 県信用農業協同組合連合会	・職域募金 ・手数料免除 ・社会貢献型自動販売機設置依頼
令和6年9月20日(金)	県民共済生活協同組合	・職域募金

エ 企業団体等への募金の依頼

■募金箱の設置推進と募金実績(募金箱・職域募金、自動販売機を含む)

依頼先	件数	設置期間	寄付金額(円)	備考
国の出先機関	130	10月~3月	38,793	
静岡県庁	835	10月~3月	1,273,791	一般募金 864,501円 NHK歳末 409,290円
(株)サンコートラベル	1	年間	102	県庁内
静岡県教育会館	1	年間	473	
ふじのくに健康福祉キャンペーン構成団体	111	10月~3月	49,877	
静岡県内の郵便局	394	10月~1月	249,928	
(株)エスパルス(S-PULSE STORE 他)	1	10月~12月	211	
	10	年間	79,110	
真如苑(静岡精舎、浜松支部)	2	10月~12月	279,254	
富士山静岡空港 受付カウンター	1	年間	4,164	
全日本空輸(株)静岡空港所	1	年間	328	
(株)しずおかフィナンシャルグループ各社	96	10月~11月、3月	807,570	
(株)静岡銀行	122	10月~11月	411,199	
	149	年間	853,531	
静岡鉄道(株)(静鉄ホテルプレジオ)	2	年間	2,527	
	1	年間	1,264	
静岡県中小企業団体中央会	1	10月~12月	6,024	
(一社)静岡県医師会	1	10月~12月	10,000	
(株)エンチャー	55	10月~12月	93,129	県内 79,329円
	1	年間	16,680	県外 13,800円
(株)オークワ	2	10月~12月	83,091	
(株)静鉄ストア	30	10月~12月	188,983	
(株)遠鉄ストア	35	10月~12月	100,000	
(株)ヒバリヤ	6	10月~12月	18,142	
(株)タカラ・エムシー(フードマーケット マム)	32	10月~12月	123,905	
(株)ユーマート	1	年間	25,677	
生活協同組合ユーコープ	1	12月	3,354,867	書き損じハガキ寄付活動 3,162,848円 他
杓間水産(株)(沼津魚がし鮓)	20	10月~12月	52,985	
静岡県麺類業生活衛生同業組合	12	10月~12月	2,171	
静岡県社交飲食業生活衛生同業組合	9	10月~12月	—	
静岡県飲食業生活衛生同業組合	1	10月~12月	1,224	
静岡県鮎商生活衛生同業組合	1	10月~12月	12,889	
静岡県理容生活衛生同業組合	26	10月~12月	15,800	
静岡県美容業生活衛生同業組合	4	10月~12月	—	
静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合	1	10月~12月	—	
静岡県書店商業組合	11	年間	15,103	
(株)戸田書店	4	年間	24,511	



依 頼 先	件数	設置期間	寄付金額(円)	備考
(株)谷島屋	18	年間	37,529	
(株)江崎書店	3	年間	—	
MARUZEN&ジュンク堂	1	年間	—	
計(36)	2,133		8,234,832	
前年度(40)	2,181		7,007,023	

※二段書き:上段は募金箱・職域募金、下段は自動販売機

オ 組立式募金箱、職域募金箱、街頭肩掛募金箱など5種類の募金箱47,206個(前年度55,254個)を、市町共同募金委員会を通じて無償で配布し、自発的寄付の環境を整えた。

カ 学校募金への取り組み依頼

学校募金ハンドブック2,326冊及び若者向け壁新聞1,639枚を県内の小学校(壁新聞なし)・中学校・高等学校に配付し、教育活動の一環としての共同募金運動に取り組むよう依頼した。

月日	組織	会議名・対象
令和6年4月上旬	静岡県教育委員会	市町教育委員長・教育長の会合(政令市含む)
令和6年6月4日(火)	静岡県高等学校長協会	理事会
令和6年7月24日(水)	静岡県私学協会	会員校理事長・校長会
学校募金ハンドブックの配付を依頼	静岡市教育委員会	市立小、中学校
	浜松市教育委員会	市立小、中学校
	静岡県教育委員会	公立小、中学校(政令市除く)
		公立高等学校、特別支援学校(市立高含む)
	静岡県私学協会	私立中学校、高等学校

② 課題解決プロジェクト募金(令和7年1月1日～3月31日)(平成25年度から12回目)

課題解決プロジェクト募金(クラウドファンディング)は、地域の福祉課題をテーマに持つ団体が、共同募金会と協働して、課題を解決する必要性を広くアピールしながら、自ら募金の協力を呼び掛けるもので、寄付者にとっては「使いみちを選択できる」新たな募金の仕組みである。

テーマに寄せられた寄付金は、共同募金会から当該団体の支援活動に全額助成(事務経費:本会経費2.5%、クレジットカード手数料3%を除く)され、課題解決へとつながる財源として活用された。

No	団体名	テーマ	目標額(円)	寄付件数	実績額(円)	助成額(円)
1	社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会	あなたが支える移動支援サービス事業	513,000	96	390,020	379,400
2	特定非営利活動法人 POPOLO	静岡 POPOLO ハウス事業	284,000	13	97,607	93,892
3	特定非営利活動法人 サンフォレスト	ひきこもり支援・相談スタッフ養成講座開催事業	206,000	21	80,443	78,432
4	社会福祉法人 静岡いのちの電話	中学生に「いのちの電話カード」配布事業	214,000	32	190,843	186,042
5	社会福祉法人 浜松いのちの電話	若者こころの支援(学生専用フリーダイヤル)事業	302,000	32	291,843	283,167
6	社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会	児童養護施設等退所児童への就学等支援事業	1,026,000	60	4,248,997	4,141,426
7	特定非営利活動法人 湖西なろうバススクール	次代を担う自立する心豊かな青少年を育成する事業	411,000	168	420,207	409,162
8	特定非営利活動法人 静岡県補助犬支援センター	身体障害者補助犬育成事業	448,000	49	587,309	572,627
9	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会	若者と学ぶ共生社会づくり事業	452,000	94	675,982	658,123
計 (9)			3,856,000	565	6,983,251	6,802,271
前年度(10)			4,380,000	497	4,111,983	4,024,239

(詳細は別冊統計資料 27ページ)



(2) 地域歳末たすけあい募金(令和6年12月1日～12月31日)

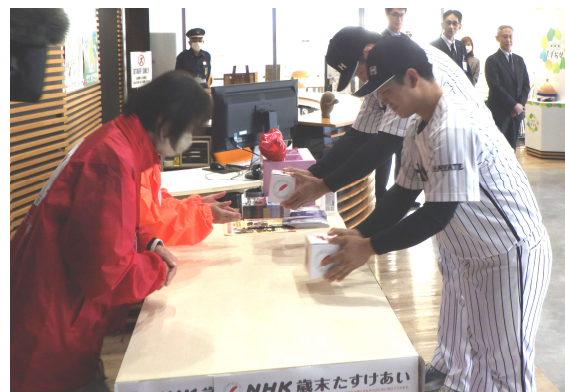
市町社会福祉協議会が実施する地域歳末支援事業のため各市町の区域ごとに戸別、法人募金等の募金活動を実施した。

区分	目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
地域歳末たすけあい募金	179,217,000	169,306,246	94.5	▲4,726,553	97.3

(3) NHK歳末たすけあい(令和6年12月1日～12月25日)

日本放送協会、中央共同募金会、NHK厚生文化事業団が主催し、県内では生活困窮者等の年末年始支援、児童養護施設等利用者の就職等自立支援を行うために74回目の募金活動を行った。

- ① 日本放送協会静岡放送局は、テレビ番組やラジオ放送の中で募金活動を呼び掛けるとともに、静岡放送局に募金受付窓口を設けた。
- ② 中央共同募金会を通じて寄付経験者に寄付依頼のダイレクトメールを発送した。
- ③ 12月2日(月)には、静岡精華幼稚園・くふうハヤテベンチャーズ静岡の協力を得て、日本放送協会静岡放送局、日本赤十字社静岡県支部(NHK海外たすけあい)とともに募金受付窓口オープニングセレモニーを日本放送協会静岡放送局で行った。



(オープニングセレモニーの様子)

区分	目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
NHK歳末たすけあい	15,309,000	15,797,311	103.2	1,158,223	108.0

■受付状況

受付窓口	件数	寄付額(円)	内 訳		
			取り扱い	件数	寄付額(円)
中央共同募金会	901	11,155,793	県下各郵便局、信用金庫ほか		
日本放送協会静岡放送局	65	514,623			
静岡県共同募金会	262	4,126,895	地方銀行3行扱い	15	3,541,491
			農協扱い	11	124,005
			漁協扱い	1	10,000
			事務局扱い 他	235	451,399
県内窓口	327	4,641,518			
計	1,228	15,797,311			
前年度	1,014	14,639,088			



7 新しい募金手法による寄付の受入(年間を通した寄付)

(1) 社会貢献型自動販売機による寄付

売り上げの一部が共同募金に寄付される社会貢献型自動販売機の設置を推進した。(50音順)

飲料会社・業者	設置台数	寄付額(円)
アシード(株)	1	10,859
(株)アベックス	2	50,881
(株)伊藤園	40	720,297
(株)エムシーフードサービス	1	42,000
(株)エル・アイ・ビバレッジ (アサヒ飲料(株))	1	6,199
コカ・コーラボトラーズジャパン(株)	64	334,733
サントリービバレッジソリューション(株)	49	235,247
(株)葉堂	1	1,157
静岡塩業(株)	13	21,133
清水総合メンテナンス(株)	7	9,000
(有)杉山飲料	1	757
ダイドーアサヒベンディング(株) (アサヒ飲料(株))	3	29,031
ダイードリンコ(株)	167	1,353,641
中央静岡ヤクルト販売(株)	5	23,734
東海ビバレッジサービス(株)	82	698,746
ナショナル・ベンディング(株)	6	22,693
西静岡ヤクルト販売(株)	1	8,044
(特非)ハートフル福祉募金	13	320,238
浜名湖電装(株)	2	2,407
(株)富士テレネット	16	5,306
ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)	4	17,668
丸二商事(株) (サントリーフーズ(株))	1	22,174
ユニヴァーサル商事(株)	21	120,998
信濃商事(株) (アサヒ飲料(株))	1	0
計	502	4,056,943
前年度	488	3,831,280

※設置台数は、令和7年3月31日現在

(設置先別台数一覧は別冊統計資料 13ページ)

(2) 物品による寄付

夏休みのこどもの食支援のための食品、周年記念祝い等の胡蝶蘭、買い替え等で過剰となった利用可能な備品などの物品を、共同募金に寄付として積極的に受け入れ、その物品を社会福祉施設等に助成するとともに、物品の評価額を寄付金として扱い、新しい募金手法として、企業の社会貢献活動の促進につなげた。

募金種別	寄付者	寄付物品	数量	寄付額(円)
一般募金	スター精密(株)	鉢植(胡蝶蘭)	9	270,000
	静岡ガス(株)	鉢植(胡蝶蘭)	18	540,000
	(学)静岡理科大学	鉢植(胡蝶蘭)	4	120,000
	(一社)静岡缶詰協会	食品(缶詰他)	10,120	1,397,022
	(株)静岡第一テレビ	鉢植(胡蝶蘭)	3	90,000
	日本ケミカル工業(株)	備品(事務機器)	259	210,248
計		7件	10,413	2,627,270
前年度		9件	11,769	5,596,188

(助成一覧は別冊統計資料 24～26ページ)

(3) 寄付つき商品による寄付(募金百貨店プロジェクト)

募金百貨店は“赤い羽根”共同募金会が行う寄付つき商品を扱う仮想の百貨店である。

募金百貨店への登録企業が企画・販売する“寄付つき商品”の売り上げの一部が赤い羽根共同募金に寄付され、県内の福祉活動の支援に役立てられる。

登録企業、購入者にとっては、地域社会に貢献するしくみとなるので、積極的に企業に提案している。



■令和6年度登録商品

	第1号
登録企業	(株)ジュビロ
登録商品	実店舗及びオンライン店舗で販売する全商品
寄付割合	売上金の一部を寄付
寄付金額	32,476円
寄付先	一般募金
販売期間	令和6年10月1日(火)～10月31日(木)
販売場所	ジュビロショップ磐田、ジュビロショップサーラプラザ浜松

(4) ネット募金

中央共同募金会のオンライン寄付サイト「ふるさとサポート募金」から様々な方法(クレジットカード、PayPay、コンビニ、ペイジー等)によりネット募金が簡単に行えるように、本会ホームページの入力画面の簡素化を図った。また、中央共同募金会では、企業が作るオンライン寄付サイトから、様々な方法(クレジットカード、ポイント等)で寄付できる仕組みづくりに取り組んだ。

募金種別	ネット募金の種類		件数	寄付額(円)
一般募金	中央共募オンライン寄付サイト	ふるさとサポート募金	124	701,476
		PayPay	55	83,090
地域歳末 たすけあい募金	Yahoo!	Yahoo! ネット募金 (クレジットカード)	1	12,679
計			180	797,245
前年度			115	729,578

【PayPayを利用した寄付方法の導入】

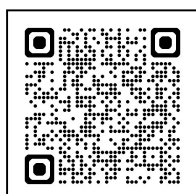
キャッシュレス決済の普及に伴い、現金によらない寄付方法への対応が共同募金における課題の一つであるが、スマートフォン決済サービスの最大手である「PayPay」を利用した寄付が、令和6年10月1日(火)から可能となった。その主な特徴としては以下のとおりである。

- ・スマートフォンだけで寄付が完了し、手続きが非常に簡便
- ・オンラインを利用した寄付
- ・記名での寄付(寄付可能額:500円以上30万円まで)か、匿名寄付(寄付可能額:100円以上1万円まで)かのどちらかを選択
- ・匿名寄付は個人が特定できないため領収書の発行は不可
- ・利用可能なものは「PayPayマネー」のみ。「PayPayマネーライト」、「PayPayポイント」、「PayPayクレジット」は利用不可

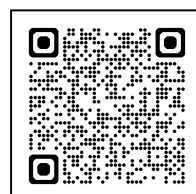


(PayPay 導入の表示例)

これを受けて、静岡県共同募金会ではスマートフォンから簡単に利用できるQRコードを作成し(県共募分及び各市町分)、10月1日(火)の運動開始時に利用できるよう、各市町に配付した。



(県共募分・記名寄付用)



(県共募分・匿名寄付用)



(5) 中央共同募金会受付の寄付(静岡県分)

全国の法人から中央共同募金会に寄せられた募金実績

寄 付 者	件数	寄付額(円)
(一財)篠原欣子記念財団	1	1,063,830
東京海上日動火災保険㈱ 住まいの保険×赤い羽根 防災・減災プログラム	1	790,473
Kellanova	1	475,292
(株)マルハン ユニオン	1	416,904
三菱電機ビルソリューションズ㈱	1	380,000
(一財)ニチレイ MIRAIterrace 財団	1	350,000
その他	53	18,089,902
計	59	21,566,401
前年度	19	2,608,042

(6) 遺贈による寄付

本会初となる遺贈(特定遺贈)による寄付があり、第309回の理事会において、表の内訳のとおり受け入れることを決定した。

寄付日	寄付額	内 訳		
		共同募金	緊急等助成資金	事務費(※)
令和6年7月8日(月)	53,000,000円	5,000,000円	46,940,000円	1,060,000円

※事務費(2%)は、中央共同募金会の遺贈受入に係る会計処理に準じたものである。

併せて、同理事会において、今後の遺贈等の取り扱いに関する指針となる「遺贈等の寄付に係る取扱要領」を決定した。

(遺贈等の寄付に係る取扱要領の主な内容)

- ・遺贈寄付は特定遺贈のみ受け入れ、包括遺贈は受け入れない
- ・特定遺贈及び相続寄付のいずれも、金銭のみ受け入れ、不動産、債券等金銭以外のものについては、遺言執行者又は相続者が金銭化した場合に限り受け入れる
- ・寄付者が助成分野を指定した場合は、共同募金以外の寄付金として受け入れ、寄付者の意思に沿った助成を行う
- ・寄付者が助成分野を指定しない場合は、500万円までは共同募金として受け入れ、500万円を超えた金額については緊急等助成資金に積み立てる
- ・寄付金は、中央共同募金会に準拠し、金額の2%を事務費として控除する



第2 助成活動

年度当初に受け付けた施設・団体等(社会福祉協議会を含む)からの助成申請については、1月に配分委員会委員による実地調査を実施した上で助成案を策定し、配分委員会での承認を経て3月14日(金)の理事会で次のとおり決定し助成した。(令和7年5月13日付けの官報で公告 ※課題解決プロジェクト募金助成決定が4月14日(月)のため) 助成に当たっては、次の募金につなげるため、助成先に対して「感謝の気持ちの伝達」の徹底に努めた。

1 共同募金による助成

(1) 令和6年度共同募金による助成

令和6年度共同募金運動による寄付金等を財源に次の助成(6年度及び7年度実施事業)を行った。

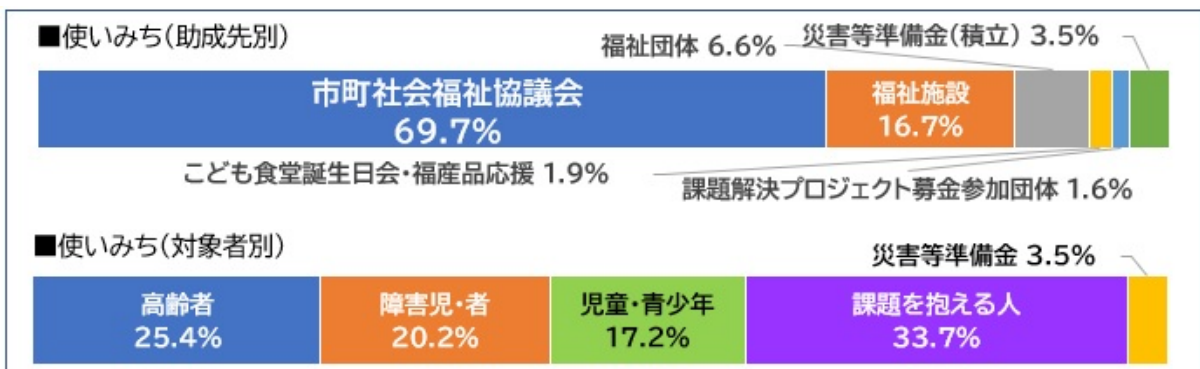
(単位:円)

区分	助成種別		助成先	件数	6年度実施 事業助成額	7年度実施 事業助成額	計
一般 募金	地域 助 成	地域福祉活動支援事業	市町社会福祉協議会	35	0	130,789,519	130,789,519
		小計			35	0	130,789,519
	広域 助 成 枠	地域福祉活動支援事業	市町社会福祉協議会 (機器整備)	1	0	1,125,000	1,125,000
			広域福祉活動団体	18	0	26,770,000	26,770,000
		福祉施設機器整備事業	社会福祉施設	40	0	49,581,000	49,581,000
		こども食堂誕生日会・福 産品応援事業	障害者就労支援団体	2	0	8,000,000	8,000,000
		災害等準備金	(積立)	—	0	14,680,000	14,680,000
		物品寄付ほか	社会福祉施設・団体	40	2,627,270	0	2,627,270
		小計			101	2,627,270	100,156,000
	課題解決プロジェクト募金		参加団体	9	0	6,802,271	6,802,271
計			145	2,627,270	237,747,790	240,375,060	
地域歳末 たすけあ い募金	地域歳末たすけあい事業		市町社会福祉協議会	34	137,778,848	0	137,778,848
	地域福祉活動支援事業 (翌年度分)		市町社会福祉協議会	(33)	0	26,095,517	26,095,517
	計			34	137,778,848	26,095,517	163,874,365
NHK 歳末 たすけ あい	年末年始支援活動助成		福祉活動団体	18	1,320,000	0	1,320,000
	年末年始施設利用者支援助 成		児童福祉施設、 更生施設他	47	12,881,000	0	12,881,000
	就職等自立支援助成		児童養護施設協議 会、里親連合会	2	0	5,788,000	5,788,000
	計			67	14,201,000	5,788,000	19,989,000
合計				246	154,607,118	269,631,307	424,238,425
前年度				278	157,975,703	272,073,011	430,048,714

【助成財源】

①令和6年度共同募金 ②災害等準備金取崩金(令和2年度積立分)3,004,000円

件数欄の()書きは市町社会福祉協議会の地域福祉活動支援事業、地域歳末たすけあい事業との重複件数



(詳細は別冊統計資料 14～32ページ)



2 緊急等助成資金による助成

令和6年度は、緊急等助成資金規程に基づき、緊急等助成資金を取り崩して、次の助成を行った。
また、遺贈を財源に積立を行った。

■緊急等助成資金の状況

(単位:円)

前年度末 残 高	当年度取崩額	当年度積立額 (遺贈受入)	当年度末 残 高
114,497,025	3,499,620	46,940,000	157,937,405

※当資金の適正規模は1億円程度と想定

(1) 災害ボランティアセンター設置・運営費助成(令和6年6月18日(火)の大雨災害)

助成先	対象経費	件数	助成額(円)
沼津市社会福祉協議会	災害ボランティアセンター運営費 (車両借上料、車両燃料費、活動用 資材購入費、電気料)	1件	1,000,000
前年度		3件	6,798,580

(2) “赤い羽根”災害ボランティア活動用機器整備事業

助成先	事業内容	件数	助成額(円)
湖西市社会福祉協議会 ほか	災害活動用機器 収納庫	3件	2,499,620
前年度		12件	6,850,828

(助成一覧は別冊統計資料 32ページ)

3 “赤い羽根”夏休みこども食堂支援セット助成事業

一般社団法人静岡缶詰協会及び正会員17社と協力団体から、本会に食品等(缶詰・飲料等)の寄付があり、「学校給食の無い夏休みのこどもたちを支援したい」という意向を受け、「“赤い羽根”夏休みこども食堂支援セット助成事業実施要領」に基づき応募があったこども食堂を通じて、こどもの食支援助成を行った。なお、この事業は令和3年度から始まり、今回が4回目となる。

(1) 寄付の状況

寄付の種類	寄付者《寄付内容》	寄付額
食 品 寄 付	(一社)静岡缶詰協会 正会員17社 《缶詰・デザート・飲料等10,120個(377ケース)、入荷送料含む》	1,232,067円
借上料寄付	(一社)静岡缶詰協会 《物流倉庫借用料》	55,000円
配送費寄付 (※)	静岡キワニスクラブ 《物流倉庫から社協への食品配送料》	100,000円
	カンナの会 《物流倉庫から社協への食品配送料》	100,000円
合計		1,487,067円

※なお、配送費寄付については200,000円の寄付を受けているが、物品寄付の統計数値には、実際に要した物流倉庫から社協等への送料を食品寄付額に加えて計上している。

(2) 助成先

こども食堂	17か所(11市町) ※応募多数のため抽選
対 象 者 数	約1,000名(主に小・中学生)
引 渡 し 日	令和6年7月31日(水) (※「吉日食堂」(富士宮市)のみ贈呈式の7/29)
引渡し方法	こども食堂所在地の市町社協に送られた食品を、こども食堂の担当者が指定日に市町社協へ直接受け取りに行く方法

(助成一覧は別冊統計資料 24～25ページ)



(3) 贈呈式

実施日	令和6年7月29日(月)
会場	静岡県総合社会福祉会館 5階集会室
内容	・(一社)静岡缶詰協会、静岡キワニスクラブ、カンナの会から、本会及びこども食堂代表の「吉日食堂」に対して目録を贈呈 ・本会から(一社)静岡缶詰協会、静岡キワニスクラブ、カンナの会へ感謝状を贈呈 ・記念撮影



4 助成効果の測定と実地監査の実施

助成先から助成事業完了後に「使途実施報告書・交付請求書」の提出を受け、書面により、助成効果の測定と実施状況の監査を行った。

(1) 市町社会福祉協議会による地域福祉活動

市町社会福祉協議会(抽出で4市)について、配分委員会委員が実地調査で事務局を訪問し、助成事業の実施状況を調査した結果、以下の指導を行った社協はあるものの、概ね妥当な状況であった。

- ① 市町への助成は、「使いみちが見えない」との批判があることから、助成に当たっては、支援対象者への直接支援など助成事業にふさわしい内容とするよう指導した。
- ② 赤い羽根共同募金と社会福祉協議会は地域福祉における車の両輪にも例えられることから、地域福祉活動計画の中に赤い羽根共同募金に関する記述を明記するよう指導した。
- ③ 二次助成を公募で行う場合には、社協事務局等の内部での選定ではなく、第三者委員会など外部の委員による審査委員会を設置し、審査の過程に透明性や公平性の確保を図るよう指導した。

実地調査対象社協	静岡市、袋井市、伊豆の国市、裾野市
----------	-------------------

また、上記配分委員会委員調査とは別に、令和5年度に発生した小山町社会福祉協議会元職員による不祥事案件を踏まえ、市町共同募金委員会及び市町社会福祉協議会(共同募金関係)に対して実地調査を行い、会計処理及び助成事業等について現状把握を行うとともに、不適正事案がある場合には是正指導を行った。

調査日	調査市町	調査日	調査市町
令和6年4月18日(木)	富士市	令和6年11月21日(木)	東伊豆町、河津町
令和6年9月17日(火)	下田市、南伊豆町	令和7年1月21日(火)	静岡市、袋井市
令和6年9月18日(水)、11月22日(金)	松崎町	令和7年1月31日(金)	伊豆の国市、裾野市

なお、令和7年3月に中央共同募金会が策定した市町村共同募金委員会による不適正事案発生および再発防止取組強化にむけた「市区町村共同募金委員会の出納業務適正実施のためのチェックポイント」により市町共同募金委員会の令和6年度会計年度の監事監査で業務状況を確認させ、本会が来年度以降も行う実地調査の基礎資料としていく。

(2) 福祉施設機器整備(修繕含む)

- ① 備品・車両等の更新又は整備は、対象者に対する福祉サービスの向上につながるもので、概ね申請の目的が達成されていた。
- ② 経年劣化等による施設設備整備は、設置者において年次計画を立てて実施するものであり、助成に当たっては当該経営主体の財政状況を勘案する必要がある。
- ③ 高額助成案件(200万円以上)については、事務局職員による実地監査を行ったが、概ね適正に実施されていた。

■実地監査実施状況(助成額200万円以上)

助成年度	事業実施年度	助成区分	件数	助成金額(千円)	指摘・指導事項
令和4年度	令和5年度	福祉施設機器整備	7	19,005	文書指摘1件(契約) 文書指導1件(検収、支払時期)

(3) 広域活動団体による地域福祉活動

福祉サービスを必要とする支援対象者に対して、相談活動や孤立防止活動など、多様な支援効果が見られた。



第3 その他の活動

1 災害等準備金の状況

社会福祉法第118条に基づき、本県の災害ボランティア活動等(災害救助法が適用された災害が対象)を支援するため募金総額の3%を3年間積み立てている災害等準備金の状況は次のとおりである。

(1) 令和6年度の準備金状況(取崩・積立) (単位:円)

前年度末 残 高	当年度取崩額 (助成額、拠出額を含む)	当年度積立額 (戻入額を含む)	当年度末 残 高
47,404,000	3,004,000	14,680,000	59,080,000
【内訳】(単位:千円) R2積立 3,004 R3積立 15,100 R4積立 14,880 R5積立 14,420	【内訳】 ・R2積立分の取崩 3,004,000	【内訳】 ・R6積立分 R6募金総額の3% 14,680,000	【内訳】(単位:千円) R3積立 15,100 R4積立 14,880 R5積立 14,420 R6積立 14,680

(2) 災害等準備金のうち積立後3年が経過した令和2年度積立分3,004,000円は取崩し、令和6年度助成財源とした。

(3) 年度末には、令和6年度分として14,680,000円を新たに積み立てた。

2 災害義援金の状況

(1) 全国の義援金募集要綱を市町社会福祉協議会等に周知した。 10件

(2) 令和6年1月1日(月)に北陸地方で発生した能登半島地震及び令和6年9月21日(土)の大雨に伴い発生した能登豪雨に係る災害義援金を受け付け、各募集共同募金会へ送付した。

義援金の名称	募集共同募金会	件数	金額(円)
令和6年能登半島地震災害義援金	中央共同募金会	7件	46,075
令和6年能登豪雨災害義援金	石川県共同募金会	3件	32,579
計		10件	78,654

3 共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金の受入れと助成

(1) 特定寄付金、指定寄付金

税制上の優遇措置を希望する共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金を次のとおり受け入れ、助成を行った。

寄 付 者 (所在地)	寄付額(円)	助成額(円) (事務費)	助成先 施設・団体名	使途指定内容
プロゴルフ競技会「Hitachi 3 Tours Championship 2023」 (一社)日本女子プロゴルフ協会 (一社)日本ゴルフツアー機構 (公社)日本プロゴルフ協会 (東京都)	206,000	200,000 (6,000)	(福)芙蓉会 ひまわり園 (児童養護施設)	備品購入及びレクリエ ーション等実施事業 (フットサル用ゴール ネット、防水アウトドア カメラ)

4 他団体助成事業の受託事務

(1) 公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成事業の推薦事務

中央競馬馬主社会福祉財団から中央共同募金会を通じて事務を受託し、当財団の助成を要望する施設を募集し審査のうえ、次のとおり推薦した。(受託事務費205,000円)

施設名	所在地	助成額(円)	使途指定内容
太陽の家(就労継続支援B型)	磐田市	2,960,000	男女トイレ改修・女子更衣室新設工事
さしだ希望の里(障害者支援)	南伊豆町	2,000,000	福祉車両購入
厚生寮(障害者支援)	浜松市	1,000,000	福祉車両購入
計(3)		5,960,000	
前年度(4)		5,900,000	



5 顕彰活動

(1) 令和6年度全国社会福祉大会における表彰

令和6年11月26日(火)、浅草公会堂(東京都台東区)において、令和6年度全国社会福祉大会が開催され、本県関係では次のとおり表彰された。

① 厚生労働大臣表彰

表彰区分	件数	条件	備考
共同募金運動奉仕団体	1団体	20年以上	

② 中央共同募金会会長表彰

表彰区分	件数	条件	備考
奉仕功労者	1名	10年以上	
優良地区・団体	2団体	10年以上	

(2) 令和6年度静岡県健康福祉大会における表彰

令和6年10月28日(月)、グランシップ(静岡市駿河区)において、ふじのくに健康福祉キャンペーン推進協議会の主催による令和6年度静岡県健康福祉大会を開催し、次のとおり表彰した。(共同募金会会長表彰の代表受領者は個人1、団体1)

① 静岡県知事褒賞

表彰区分	件数	条件	備考
共同募金運動推進者	3団体	15年以上	

② 静岡県共同募金会会長表彰

表彰区分	件数	条件	備考
募金ボランティア個人	5名	3年以上	
募金ボランティア団体	23団体	〃	



(知事褒賞代表受領)



(会長表彰代表受領・個人)

(3) その他の顕彰

表彰区分	件数	条件	備考
厚生労働大臣感謝状	2件	個人100万円以上 団体300万円以上	団体2件
中央共同募金会会長感謝楯	3件	個人 50 万円以上 団体 100 万円以上	個人1件、団体2件
中央共同募金会会長感謝状	7件	個人20万円以上 団体60万円以上	個人5件、団体2件
静岡県共同募金会会長感謝状	128件	5万円以上	



第3部 法人運営

第1 会務の運営

1 理事会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第307回】 令和6年5月17日(金) 静岡県総合社会福祉会館 1階101会議室 (定足数) 総数11名(定員9～11名) 出席者9名 ※監事 2名出席	【報告事項】 (1)定款第24条ただし書きにより会長が専決した事項の報告について ①令和5年度課題解決プロジェクト募金の助成措置 ②令和5年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ③令和6年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 (2)実地監査結果の報告について 【決議事項】 第1号議案 評議員候補者(補欠)の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集について 第2号議案 次期評議員選任・解任委員会委員の選任について 第3号議案 令和5年度事業報告の承認について 第4号議案 令和5年度計算書類等の承認について 第5号議案 定時評議員会の招集について 第6号議案 令和6年度共同募金(一般募金)広域目標額(市町共募扱い)について	・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決
【第308回】 令和6年7月12日(金) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数11名(定員9～11名) 出席者8名 ※監事 2名出席	【報告事項】 (1)会長及び常務理事の職務執行状況の報告について (2)定款第24条ただし書きにより会長が専決した事項の報告について ①令和6年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ②令和6年度(公財)中央競馬馬主社会福祉財団助成要望団体の推薦 (3)外部監査契約の継続について (4)知事報告について 【決議事項】 第1号議案 評議員候補者(補欠)の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集について 第2号議案 配分委員会委員の補欠選任について 第3号議案 令和6年度(第74回)NHK歳末たすけあいの助成方針について 第4号議案 令和6年度課題解決プロジェクト募金の実施について 第5号議案 令和6年度共同募金の目標額、受配者の範囲、配分の方法について 第6号議案 諸規程の改正について (1)嘱託員の身分等取扱規程の一部改正	・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決 ・原案どおり可決



4 評議員選任・解任委員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第14回】 令和6年5月17日(金) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数5名(定員5名) 出席者4名	【審議事項】 第1号議案 評議員の補欠選任について	・原案どおり可決
【第15回】 令和6年7月12日(金) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数5名(定員5名) 出席者5名	【審議事項】 第1号議案 評議員の補欠選任について	・原案どおり可決
【第16回】 令和7年3月14日(金) 静岡県総合社会福祉会館 6階601会議室 (定足数) 総数5名(定員5名) 出席者5名	【審議事項】 第1号議案 評議員の補欠選任について	・原案どおり可決

5 配分委員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第68回】 令和6年7月2日(火) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数13名(定員13名) 出席者9名	【報告事項】 (1)令和5年度共同募金運動の実績について (2)配分委員会規程第8条第7項により委員長が専決した事項の報告について ①令和5年度課題解決プロジェクト募金による助成措置 ②令和5年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ③令和6年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 (3)実地監査結果の報告について 【審議事項】 第1号議案 令和6年度(第74回)NHK歳末たすけあいの助成方針について 第2号議案 令和6年度課題解決プロジェクト募金の実施について 第3号議案 令和6年度共同募金の助成計画について 第4号議案 令和6年度(公財)中央競馬馬主社会福祉財団助成事業に係る推薦について	・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認
【実地調査】 令和7年1月14日(火)から 令和7年1月31日(金)まで (延べ10日間)	配分委員13名により、令和6年度共同募金による助成事業に申請があった65施設、グループ、団体の実地調査を実施した。	



開催時期・会場	審議事項	備考
【第69回】 令和7年2月27日(木) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数13名(定員13名) 出席者 9 名	【報告事項】 (1)令和6年度共同募金運動の状況について (2)配分委員会規程第8条第7項により委員長が専決した事項の報告について ①令和6年度地域歳末たすけあい募金による助成措置 ②令和6年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 【審議事項】 第1号議案 令和6年度共同募金(一般募金)による助成について 第2号議案 令和6年度地域歳末たすけあい募金の剰余金による助成について 第3号議案 令和6年度(第74回)NHK歳末たすけあいによる助成について 第4号議案 令和6年度災害ボランティア活動用機器整備事業の助成について 第5号議案 令和7年度助成要綱の制定について 第6号議案 災害等準備金(令和3年度積立分)の取崩について	・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認

6 本会開催の会議等

会議名	開催時期	対象者
市町共同募金委員会事務担当者研修会	8月5日(月) (オンライン)	市町共募職員:30市町48名
助成金交付説明会	3月27日(木)	助成先62施設・団体



(助成金交付説明会)



第2 その他の会務の運営

1 関係機関との連携

(1) 中央共同募金会主催の会議等

会議名	開催時期	対象者
都道府県共同募金会職員会議	4月18日(木)、19日(金)	主事
第253回理事会	6月4日(火)	清野副会長
都道府県共同募金会常務理事・事務局長会議	7月16日(火)、17日(水)	常務理事、事務局長
「e 応募」都道府県共募版オンライン説明会	7月31日(水)	全職員
「共同募金会職員のためのテキスト」オンライン説明会	8月9日(金)	全職員
財務省からの指示に関する臨時都道府県共募常務理事・事務局長会議	9月9日(月)、13日(金)(オンライン)	常務理事、事務局長
都道府県共同募金会職員研修会	11月7日(木)、8日(金)	主事
第254回理事会	11月13日(水)	清野副会長
都道府県共同募金会職員第2回オンラインサロン	12月13日(金)	全職員
都道府県共同募金会常務理事・事務局長会議	2月7日(金)(オンライン)	常務理事、事務局長
第255回理事会	2月21日(金)	清野副会長
都道府県共同募金会職員第3回オンラインサロン	3月21日(金)	全職員

(2) 社会福祉協議会主催の会議等

会議名	開催時期	参加者
市町社会福祉協議会新任事務局長研修会 ※	4月26日(金)	常務理事
市町社会福祉協議会事務局長会議 ※	5月30日(木)	常務理事、事務局長
東部ブロック市町社会福祉協議会連絡会	7月22日(月)	常務理事
西部ブロック市町社会福祉協議会連絡会	8月2日(金)、2月21日(金)	常務理事、事務局長
中部ブロック市町社会福祉協議会連絡会	9月4日(水)	常務理事、事務局長
災害支援活動を行う県域団体との情報交換会 ※	2月18日(火)	事務局長、主事
県社会福祉協議会夢みらい応援資金贈呈式 ※	3月6日(木)	常務理事

※は県社協主催会議

(3) その他の会議、外部研修等

会議名(主催)	開催時期	参加者
監事監査研修(静岡県社会福祉協議会)	4月19日(金)～5月19日(月)(オンライン)	監事、常務理事、事務局長、主事
関東ブロック共募職員研究協議会(栃木県共募)	10月9日(水)	主事

2 共同募金運動募金経費

昭和42年9月19日付社庶第340号厚生省社会局長通知の求める“経費率概ね10%”を達成するために、寄付物品の受け入れなど新たな募金手法にも挑戦し募金総額の増加につなげるとともに、募金経費は常にその内容を分析・精査し、必要最小限で最大の効果を上げるよう努めた。

年度	募金経費	経費率 (募金総額に対する募金経費)	内 容
6年度	70,446,380円 (うち市町共同募金委員会経費 16,054,244円)	13.96%	人件費、事業費、事務費、中央共同募金会分担金、減価償却費ほか
前年度	72,995,257円 (うち市町共同募金委員会経費 14,978,993円)	14.97%	同上

3 社会福祉法人指導監査

社会福祉法第56条に基づく所轄庁(静岡市)による社会福祉法人指導監査(5年に1回)の実施結果は下記のとおりである。

実施日	実施結果(文書指摘・口頭指摘・助言)
8月27日(火)	指摘事項・助言事項等、いずれもなし



第3 社会福祉法人静岡県共同募金会役員等名簿

1 理事・監事

[令和7年3月31日現在] 理事定数9～11名(現員11名) 監事定数2名(現員2名)

役職名	氏 名	役職名	氏 名
会 長(理事)	柴 田 久	理 事	米 山 英 二
副会長(理事)	清 野 文 雄	〃	繁 田 昇
副会長(理事)	岩 倉 睦 弘	〃	本 郷 徹 志
副会長(理事)	廣 野 篤 男	常務理事	影 島 秀 明
理 事	中 村 正 蔵	監 事	青 島 伸 雄
〃	高 橋 敏 行	〃	萩 原 綾 子
〃	岩 崎 四 郎		

2 評議員

[令和7年3月31日現在] 評議員定数12～14名(現員14名)

役職名	氏 名	役職名	氏 名
評議員	中 村 泰 昌	評議員	下 位 桂 子
〃	窪 田 賢 一	〃	鈴 木 良 則
〃	柳 川 実	〃	河 村 孝 之
〃	塩 崎 克 幸	〃	角 山 雅 典
〃	坂 根 英 夫	〃	戸 野 谷 宏
〃	田 宮 文 雄	〃	田 中 克 尚
〃	鈴 木 孝 一	〃	渡 邊 順 子

3 評議員選任・解任委員会委員

[令和7年3月31日現在] 委員定数5名(現員5名)

役職名	氏 名	役職名	氏 名
委 員(外部委員)	田 中 宏 和	委 員(監事)	萩 原 綾 子
〃	佐々木希世子	〃 (職員)	藤原由佳子
〃	植 松 政 人		

4 配分委員会委員

[令和7年3月31日現在] 委員定数13名(現員13名)

役職名	氏 名	役職名	氏 名
委 員 長	清 野 文 雄	委 員	田 宮 文 雄
副委員長	影 島 秀 明	〃	澤 木 達 治
委 員	本 郷 徹 志	〃	野 村 諒 子
〃	鈴 木 良 則	〃	河 村 孝 之
〃	鈴 木 亨	〃	種 本 鏡 子
〃	宮 崎 真 弘	〃	清 水 久 美 子
〃	日 詰 一 幸		

5 職 員

[令和7年3月31日現在]

役職名	氏 名
常務理事	影 島 秀 明
事務局長	藤原由佳子
主 事	常 盤 寛 子
〃	竹 内 実 穂
嘱託員	村 田 明 子
〃	石 川 ひ ろ み
調査専門員	大 野 彰 彦

【事務所所在地】
〒420-0856 静岡県葵区駿府町1番70号 静岡県総合社会福祉会館シズウェル4階 TEL 054-254-5212 FAX 054-254-6400 e-mail 22@shizuoka-akaihane.or.jp URL http://www.shizuoka-akaihane.or.jp/